関川村 議会だより

第139号
令和7年（2025）
5月15日発行

春うらら 桜満開

桜の碑：高瀬温泉橋たもと

- 関川村議会基本条例が制定されました（別紙）
- 会議報告 …… 2 ページ
- 予算審査特別委員会 …… 4 ページ
- 一般質問　6 名登壇 …… 6 ページ
- 議員活動報告（脱炭素特別委員会/議会モニター会議/ほか） …… 9 ページ
- 村民の声　吉田美香（よしだみか）さん …… 10 ページ

村のホームページでもご覧になれます。
http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/

発行　関川村議会　　発行責任者　議長　小澤　仁
編集　議会広報常任委員会　TEL（0254）64－1494

会議報告

臨時会議と3月定例会議の内容を抜粋して報告いたします。

臨時会議
1月27日開催

■関川小学校省エネ改修工事変更
変更前　５８３０万円
変更後　５８１７万円

■関川中学校省エネ改修工事変更
変更前　５８０８万円
変更後　５８１３万円

■一般会計補正予算（第11号）
１億６６０万円追加

○交通機関対策費補助金　６３０万円
路線バスの運行赤字分の補助

加藤和泰　補助額増加の要因は。

地域政策課長　新潟交通観光バスの車両入替えや燃料費・人件費の高騰によるもの。

○福祉施設電気料高騰支援事業補助金　３５０万円
村内介護福祉施設5法人15事業所に対する電気料の半額補助

○農業・畜産振興費　４４１７万円
非主食米栽培農家と酪農家に対する肥料・飼料の価格高騰の補助

○道路除雪対策費　６３００万円
消雪パイプの電気料と修繕費、および除雪作業委託料

○給食費　２４５万円
食材費高騰による給食費の値上げに対し、保護者の負担を軽減

臨時会議
2月20日開催

■一般会計補正予算（第12号）
４２４０万円追加

○企業誘致業務委託料　１１０万円
道の駅のコンビニ出店に関し、仲介業者に支払う費用

鈴木紀夫　仲介業者とは。

地域政策課長　新潟市内のコンビニ誘致に実績があり以前から相談していた企業。

駐車場予定地

○道路除雪対策費　４０５０万円
消雪パイプの修繕、部品交換、および除雪作業委託料

定例会議
3月6日開催

■一般会計補正予算（第13号）
５億９３３０万円減額

○地域おこし協力隊業務委託料　１１００万円減
協力隊の途中退任および募集していた協力隊員に応募がなかったため

○脱炭素事業費補助金　５億３５１７万円減
太陽光パネル設置の計画変更のため

○予防接種委託料　１４５０万円減

川崎哲也　減額の主な要因は。

健康福祉課長　コロナワクチン接種者が少なかったためであり、接種数は接種見込者数の１／３程度。

○道路橋りょう維持費　８０００万円減
鮎谷橋の工事内容変更によるもの

○防災無線戸別受信機更新及び施工管理委託料　３億６４５０万円
令和7年度に実施予定の村内全戸防災タブレット設置事業の入札業務を6年度内に進めるため、債務負担行為として設定

※債務負担行為
翌年度以降の事業支出をあらかじめ本年度予算で決めておくこと。

議員表決結果報告

区分		件名	小澤仁	加藤つや子	川﨑哲也	近敬志	近壽太郎	加藤和泰	高橋正之	菅原修	平田広	鈴木紀夫	結果
臨時	議案	関川小学校省エネ改修（照明器具LED化更新）工事変更請負契約の締結について	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川中学校省エネ改修（照明器具LED化更新）工事変更請負契約の締結について	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	一般会計補正予算（第11号、12号）	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3月定例会議	議案	おおしま交流館の設置及び管理に関する条例の制定	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	警報等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	村議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	国民健康保険診療所勤務医師の給与に関するに関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	公共下水道条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	簡易水道事業条例の一部を改正する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	ホームヘルパー派遣に伴う費用徴収条例を廃止する条例	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	過疎地域持続的発展の変更	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	辺地にかかる公共的施設の総合整備計画の策定	―	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	村道路線変更	―	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	一般会計補正予算（13号）	―	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	国民健康保険事業特別会計補正予算（２号）	―	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（３号）	―	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	介護保険事業特別会計補正予算（３号）	―	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	令和７年度一般会計予算、特別会計予算	―	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	議案	令和７年度上下水道事業会計予算	―	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	同意	教育委員会委員の任命（１号、２号）	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

○ 賛成　× 反対　― 議案が議員本人に関する場合や議長は採決に参加できません。

令和７年度　予算審査特別委員会

３月定例議会において、令和７年度の予算審査が委員会付託され、委員長 加藤つや子、副委員長 川崎哲也、他委員６名にて、３月７日・10日の２日間にわたりに審議されました。抜粋し、一部を紹介いたします。

一般会計当初予算　52億200万円【前年比 10億3400万円増】

※ 新 新規　拡 拡充

一般会計（抜粋）

総務費 22億7733万円

防災と脱炭素の推進

■防災無線個別受信機更新工事 新 3億3000万円

Q 機種の詳細と機能はどこまで求めるのか。

A 現在の音声受信機を、いろいろな機能を備えたタブレット端末に変更し高齢者でも扱いやすいように、音声と文字の簡単なところから始める予定。特別交付税を活用し負担のないように進める。

■防犯機能付き電話機等購入補助金 新 50万円

Q 補助対象者と金額は。

A 高齢者を狙った悪質な詐欺事件に対する対策として購入費を補助。世帯に65歳以上の方が一人でもいれば対象で上限１万円。

■地域おこし協力隊業務委託料 拡 2000万円

Q 新規の業務内容は。

A 昨年から継続の「るーむ」運営に加え、新たにふるさと納税の拡充・森林活用について募集を行うもの。また、七ヶ谷活性化については引き続き募集する。

※「るーむ」旧大島保育園

■地域公共交通活性化協議会補助金 拡 50万円

Q 公共交通の拡充内容は。

A ２路線の運行委託、またデマンドタクシー運行のため専用の車両を購入する。

商工労働費 9億5407万円

交流人口拡大を目指す

■道の駅周辺整備事業費 新 5000万円

Q 駐車場の整備とあるがコンビニ誘致に関連しての整備か。

A 道の駅内にコンビニの出店を予定しており、合わせてアチェーロを解体し駐車スペースを確保する。

イメージ

■イベント企画委託料 新 190万円

Q おにぎり「ぼんご」の協力でどのようなイベントを企画しているのか。

A 首都圏在住者を対象としたおにぎり講座の開催を予定。出版社やＳＮＳを利用し、村内産コシヒカリと関川村をアピールして交流人口の拡大につなげる。

民生費 9億9056万円

少子高齢化対策としての支援を充実

■成年後見制度推進事業費 新 800万円

Q 成年後見人は不足しているのか。

A 高齢者の増加と核家族化も重なり、親族後見人や専門職後見人となる方が不足している。対応として権利擁護センターを設置し、相談対応や後見人養成のための研修会などの委託料を計上した。

■児童手当給付費 拡 5860万円

Q 1100万円の増額だが拡充範囲は。

A 国の制度が改正され支給範囲が高校生まで拡大されたことと、所得制限が撤廃されたことによる増額。

衛生費 4億4053万円

感染抑止と妊産婦支援

■感染予防費 拡 2268万円

Q 予防接種委託料の増額理由は。

A 帯状疱疹予防接種が国の定期接種になったための増額。詳細が決まったら対象者へ周知していく。

■妊産婦支援交付金 新 40万円

Q 交付の内容は。

A 最寄りの産科病院が新発田市と遠いことから交通費等を支援するもの。

■指定ゴミ袋製造等管理委託料 新 670万円

Q ゴミ袋デザインの変更に伴う製造か。

A 在庫が無くなることによる補充で、デザインは昨年から導入しているニャン吉柄。

消防費 2億8865万円

団員数の減少に歯止め

■消防団員報酬 拡 1110万円

Q 団員1人当たりの報酬上昇額は。

A 一般団員の報酬を年額約1万円アップの3650円に増額し、支給方法も本人口座振込に変更。役付き等の団員の報酬は据え置き。

教育費 3億8132万円

教育環境の整備

■ICT備品購入費 新 2634万円

Q タブレットの交換時期とのことだが購入メーカーは決まっているのか。

A 小中学生が使用するためできるだけ耐久性の高いメーカーと考えている。

■設計積算委託料 新 730万円

Q 避難所の機能強化目的として中学校のエアコン工事の設計とあるが予定範囲は。

A すでに整備されている一般教室以外の特別教室等のほぼ全室と体育館で、電力量を計算し設備等を含めた設計をする。

特別会計（抜粋）

後期高齢者医療特別会計 8420万円

健康寿命を延ばし高齢者から幸齢者へ

■長寿健康増進事業支援委託料 新 377万円

Q フレイルの検査をどのようにに行うのか。

A 特定健診の会場や体力測定会等でデジタル機器を用いて簡単な測定を行いその分析結果を踏まえ、今後の対応策を検討するための委託事業。

フレイル
健常者と要介護者の間の方で身体的・精神的・社会的に衰えが出始めた状態

JR米坂線復旧に向けて村長の考えは

村　長　引き続き県・沿線自治体と連携して進める

加藤和泰（かとうかずひろ）議員

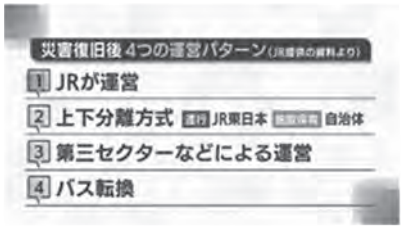
問　ＪＲ東日本新潟支社は、復旧後の運営について４つの案を示した。

村長は、それぞれの案についてどのように考えているか。

村長　一案のＪＲ直営による運営がベストであると考えるが、ＪＲ側からは厳しいとの見解が示されている。

二案の上下分離方式は、仮に村に新たな負担を求められる場合、村の財政状況が年々厳しくなる中で、慎重に判断しなければならないと考える。

三案の第三セクター方式や四案のバス転換については、運営主体や地元負担などの詳細が不明であり、現状では判断できない。



問　米坂線は、新潟・山形両県にまたがっているが、今回の復旧について両県の考えに違いがあるのではないかと感じるが。

村長　新潟・山形両県で話し合いは行っていると理解している。

他県の復旧事例を見ても、基本的には県主導で進めている。

今後もＪＲ、国と協議を進めていく中で、我々沿線市町村も一致団結していく事が大事だと感じる。

一番大事な事は、どのような手段であれ、住民が不便にならないよう、地域の公共交通を守るという事を念頭に今後も協議を進めていく。

J-クレジットの活用について問う

村　長　令和７年度の登録にむけて準備

鈴木紀夫（すずきのりお）議員

問　村のＪ－クレジットは５８０ｈａある村有林から創出可能だが、整備を含めどのように進めるのか。

村長　７年度中に試算し森林整備計画に基づきクレジット量の検証、販売先の調整を行う予定。

問　メタンガスの発生を抑えることでＪ-クレジットが得られる中干し延長の取り組みだが、取得方法がわからない農家に対し村が主導することで農家の所得向上につなげられないか。

村長　当村は脱炭素先行地域であることから、行政として環境に配慮し農家が関心を持てる方向で進めたい。

ふるさと納税の返礼品

問　米不足で米の返礼ができない状態が続く。７年産米の先行予約返礼品として納税の増額を図れないか。

村長　米の先行予約に取り組むことは、ふるさと納税の期待に応える有効な取組と考えており、米を提供している農家と調整を進めている。条件が整い次第、先行予約に取り組む。

ふるさと納税返礼品

JR米坂線の災害復旧後の運営方法の対応

村　長　村の財政では極めて対応は慎重な判断を要する

平田（ひらた）　広（ひろし）議員

問 ＪＲが示した４案の中で、上下分離方式と第三セクターなどによる運営は、毎年大きな赤字が見込まれる。当村は人口減少も激しく、村の財政では対応は困難と思うが。

村長　仮に村の新たな大きな負担が求められる場合は、村の財政状況を踏まえると、極めてその対応は慎重な判断を要する。

村が進める脱炭素事業

問 公共施設の屋根で設置予定だった太陽光パネルは、建造物の構造計算をしたら重さに耐えられないことが判明し、当初計画から大幅な見直しを余儀なくされた。その要因を伺う。

村長　応募に際してはパネル設置について施設ごとの技術的検証は行っていない。選定段階で施設の構造計算を確認、具体的な設置工法を決める中、屋根構造や積雪荷重等の観点から屋根にパネル設置が出来ないと判明した。豪雪における太陽光発電への知見が不十分だったことも一つの要因。

村が募集している村民の声

問 村からの回答を必要とする中で、回答を却下したものはあるか。

村長　回答を希望された場合には、担当から回答しており、却下はない。

下関駅

住民生活を守る防犯対策は

村　長　防犯カメラを公共施設に設置している

菅原（すがわら）　修（おさむ）議員

問 全国で犯罪の悪質化に懸念が高まる中、防犯カメラを増やす考えは。

村長　村の施設で防犯カメラを数台設置しており、犯罪の発生が危惧される場合には、状況をみながら検討する。

問 個人住宅の防犯カメラやカメラ付インターホン、防犯ブザー等の費用の一部を支援する考えは。

村長　新年度から高齢者世帯を対象に、防犯機能付き電話機の購入費の一部を助成したいと考えている。

片貝村営住宅は緊急で解体を

問 入居が10年以上ないこの住宅は、老朽化が進んでいるが緊急的な解体の必要性は。

村長　集落からも解体要望が出ているが、一般財源の充当が必要で財源確保が課題。村内には遊休施設が他にもあり、危険性や緊急度の勘案、財源確保を行いながら進める。具体的な解体時期は未定。

問 屋根が崩れかかり、瓦も落ちそうで人的危害の懸念もあるが。

建設課長　指摘は職員巡回に活かす。必要な部分は修繕をしながら解体時期まで、建物を維持していく。

片貝村営住宅

道の駅コンビニ誘致場所は

村　長　道の駅第二駐車場の予定

髙橋正之（たかはしまさゆき）議員

問 アチェーロを解体して駐車場用地と考えているようだが、店舗の場所や入り口はどのようになるのか。

村長 この度ローソンから前向きな返答を戴き、現在契約に向けて取り組んでいる。出店場所は道の駅第二駐車場となり、店舗の入り口はアチェーロ側が正面入り口となる予定。村が土地を貸付け、建物はローソンが建設ということで協議を進めているところ。

防犯対策について伺う。

問 昨年は窃盗犯罪が多々あり、人身犯罪など様々な犯罪防止のため防犯カメラの設置が必要と考えるが村長の考えは。

村長 防犯カメラの設置が犯罪防止の抑止になることが十分考えられるので、犯罪の発生が危惧される不特定多数の人が集まる場所には防犯カメラの設置の検討をしていきたい。

森林環境譲与税の有効活用について伺う。

問 林業従事者の育成、指導など進捗状況は。

村長 山の担い手育成講座は参加者が減少。次年度から林業事業体の安全講習をメインとし、関係機関と協力して実施したい。

脱炭素先行地域辞退の可能性は

村　長　辞退は考えていない

川﨑哲也（かわさきてつや）議員

問 円安や資材高騰による事業への影響は。

村長 資材の多くが海外製品のため影響は大きい。事業の採算性を考慮し事業規模を検討している。

問 世界各国の脱炭素政策の見直しの動きもあるが。

村長 世界情勢を注視し必要に応じて事業を見直しながら進めていく。

問 事業と、村民や地元企業との関わりは。

脱炭素推進室長 中学校出前講座で脱炭素の理解促進を図っている。村内企業に関しては、関わりはまだ不十分と考えている。

農業地域計画

問 策定された同計画は今後、村の農政にどう活かされるのか。

村長 国と県の回答待ちであるが、地域の農業が守られるよう、同計画を村の農政に反映させる。

地域おこし協力隊

問 村では地域おこし協力隊員の途中退任が多い。村はどう考えているか。

村長 地域おこし協力隊員と受け入れ団体の連携が不十分であった。今後は、三者の連携を密に行い、活動目的を共有する。また集落内での生活支援も充実させていく。

問 地域おこし協力隊受け入れの手順は。

地域政策課長 集落などから地域おこし協力隊活用の相談があれば、集落とともに募集要項を作成し、隊員を募る。

社協敷地内の太陽光パネル

脱炭素調査特別委員会　3月18日

6年度の事業実績を現地にて説明を受ける

■関川村実施事業
公共施設省エネ工事

◇村民会館
アリーナのＬＥＤ化工事により電気使用量を約75％削減。
高効率空調設備の一部入れ替え。

◇関川小・中学校
全照明ＬＥＤ化工事により電気使用量を削減。中学校の教室と職員室には停電時10時間照明を維持できる蓄電池内蔵型を採用。

◇の～む
既存照明をＬＥＤ化し事務室に蓄電池内蔵型を採用。高効率空調設備に入れ替え工事。

■せきかわふるさとエネルギー実施事業

◇太陽光パネル
村民会館屋根置きパネル設置。
社協敷地45度パネル設置。
の～む、簡易水道水源地、上水道水源地の3か所に垂直両面パネル設置。

◇小型風力発電
ふれあいど～む、浄化センターの2か所に6ＫＷ風力発電を3基設置。

議員活動報告

「議会モニター会議」を開催（1月20日）

令和6年4月からの活動を振り返って（抜粋）

- モニター2期目だが、3年前の議会だよりと比較して随分と変わってきているし、開けた議会に向けて頑張っている。また、本会議の進行、受け答えがスムーズになって聞きやすい。
- 村民から一般質問として扱って貰いたい内容を、受付ける窓口をつくれないか。
- 村民にとって重大な問題を一般質問するとき、専門性に長けた議員がいなければどの様に対応するのか知りたい。
- アンケートに出した意見は、レスポンス（返答）が載っていて信頼性がある。
- 議会だよりの表紙と裏がカラー版になったのは画期的。興味が持てる内容になってきて、家族も見やすくなったと言っている。
- 一般質問では議員個人の質問だけでなく、議員同士で検討し代表質問という形式にできないものか。
- 議会だよりは内容の改善がみられるが、横書きバージョンを希望する。
- ＪＲ米坂線復旧期成同盟会の活動は、高校生にも働きかけた方が良い。
- 防犯灯や防犯カメラの設置で、安心安全な生活ができるようにして欲しい。
- ジビエ利用の推進と空き家、ゴミ屋敷問題等を考えて欲しい。
- インターネット配信を、試験的にでも始めて欲しい。
- 村民の声を議会で切に伝えて欲しい。

「いわふねの森づくりセミナー」（2月12日）

Ⅰ演題
「村上市におけるグリーンプロジェクトについて」
～バイオマス発電による林業振興～

Ⅱ演題
「今後の森林・林業について」

村民の声

関川村での新たな暮らし
～移住５年目の今～

吉田美香（よしだみか）さん（上関）

４年前、夫と一緒に東京から関川村へ移住しました。一時、東京が嫌いになったわけではなく、偶然が重なり、流れに身を任せるうちにやがて関川村に辿り着いた、というのが正直なところです。

移住を考え始めたきっかけは、ふと「もっと時間や心に少しゆとりを持って穏やかに暮らしたい。」と思ったことがきっかけでした。

移住についてネットなどで調べているうちに、全国の自治体が集まって移住相談会が近々開催されることを知り、足を運びました。

そして、「移住」の二文字が頭に浮かんでから、わずか１年足らずで関川村への移住が実現しました。

関川村にはそれまで縁がなかったのですが、移住前に旅行で訪れ、一瞬で魅了されました。豊富な温泉、美味しい食べ物、美しい景色、静かな環境、そして温かい地元の方々。方言にも愛らしさを感じ、すぐにこの場所が好きになりました。

しかし、移住当初は大雪に戸惑いました。引っ越してきたのは３月中旬過ぎていたものの、寒さが苦手だったので「新潟での生活は無理かもしれない。」と不安になったことを今でも覚えています。

関川村に移住して４年が経ちました。そんな中で今感じているのは、「人生で最も幸福な時間を過ごしている。」ということです。

「もっとゆっくり暮らそう」と思って東京から移住したはずなのに、現在は人生で最も忙しい日々を過ごしています。不思議なものではありますが、それでも充実感と幸せに満ちています。

他にも、関川村の方々の温かさにはびっくりさせられます。どこの誰かも分からなかった移住者の私たちに、最初から優しく接してくださり、早く地域に溶け込むことができました。関川村の人々はなぜこんなにも温かいのか、今でも不思議に思うほどです。地元の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、私は旧斎藤医院邸で週２回のパン屋を営んでいます。パン作りは初めてでしたが、「村にパン屋が欲しい。」という声を聞き、思い切って挑戦することを決めました。

気付いたらいつの間にかパン屋になっていました。そんな感覚です。

パンを作ること以上に、地元の皆さんと顔を合わせることが何よりも楽しいです。

そんな日々が送れる関川村に、心から感謝しています。

編集後記

新年度が始まりました。入園、入学、入社そして、新しい人生を始めた方もいらっしゃるでしょう。関川村の道の駅にもコンビニが誘致され、渡邉邸の裏門周辺が整備される予定です。村も交流人口や関係人口の創出、新たな集客の推進を図ります。議会も策定された「関川村議会基本条例」を推進して参ります。村民の皆さまには、議会運営に更なる関心を寄せて戴きたいと思います。新しい一歩を踏み出す時には大きなエネルギーを使いますが、立ち止り、振り返り、一息入れてまた一歩。新しい人、物、事との出会いを楽しみたいものです。

（つ）

議会広報常任委員会

委員長　加藤つや子
副委員長　加藤　和泰
委　員　近　壽太郎
〃　鈴木　紀夫
〃　近　敬志
〃　川﨑　哲也